

令和5年6月29日

教育長答弁実録

（教育委員会）

（問）教育現場での生成AIの活用について

生成AIの持つ可能性やメリット、子供への影響などのデメリットを踏まえて、今後、教育現場でどのように活用していくのか、教育長の所見を伺う。

（答）

学習指導要領では、「学習の基盤となる資質・能力」の一つとして、「情報活用能力」が位置付けられており、急速に情報技術が進展する中で、各教科等の特質に応じて、適切な学習場面で情報活用能力を育成していくことが重要であると認識しております。

こうした中で、Chat GPT等のいわゆる生成AIの教育現場での活用の可能性につきましては、授業中にグループ学習の途中で生徒たちが気付かない視点を得たり、高度なプログラミング学習の場面において、生徒が作成したプログラムの改善の参考にしたりすることなどが考えられます。

一方で、生徒が自ら作成した文章か生成AIを使って作成した文章かを判断できないことや、事実とは異なる内容が表示される場合があることなど、様々な議論や懸念の声があるものと承知しております。

そのため、教育現場での活用に当たっては、児童生徒の批判的思考力や創造性への影響などの視点から、どのように生成AIを活用することが有効であるかといったことなどの整理が必要であると考えております。

県教育委員会といたしましては、生成AIの活用について、様々な視点から、その効果と課題を検討する機会を設けるとともに、文部科学省が夏前を目途に策定・公表を予定しているガイドラインの内容など、国の動向を注視し、教育現場における活用の在り方について検討してまいります。